

# 施策評価シート（平成29年度実績評価）

## ◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	1-4	政策名	観光の振興	政策の 目指す姿	国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出しています	施策 主管課	観光課	施策主管 課長名	富澤 秀和
	施策No.	2	施策名	観光情報の発信	施策の 目指す姿	観光資源が国内外で有名になっています	関係課名			
	現状と課題	・各種メディアへの宣伝広告やホームページでの情報発信など従来の手法に加え、新たな情報発信が求められています。 ・訪日外国人観光客が増加するなか、東北地方への入り込みが少ない状況です。								

## ◎ 前年度の評価の振り返り

(前年度評価時の今後の方向性) ・花巻観光協会が行う宿泊施設の閑散期対策事業のPR及び支援を行う。 ・花巻・遠野・平泉との連携とともに、国の東北観光復興対策交付金を活用し、海外からの誘客に向けた態勢整備やプロモーションを行う。
(反映状況) ・宿泊施設利用促進への支援として、閑散期となる冬季に花巻観光協会が行う宿泊予約サイトへの宣伝等へ支援した。 ・花巻・遠野・平泉観光推進協議会を通して、広域連携による周遊観光を促すプロモーション事業等を実施した。

## 1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1)効果的な観光情報の発信 ○新しいメディアに対応した情報提供 ・市ホームページ及びFacebook等を活用した観光情報発信 ○広告掲載やパンフレットなどによる宣伝 ・旅行雑誌や旅行サイトでの情報発信 ○国内外での観光キャンペーンの展開 ・誘客及び観光物産に係るキャンペーンの実施、参加 ○お土産品や特産品のプロモーション ・各種イベントや催事での土産品等の紹介 ○映像作品ロケ誘致に向けたプロモーション ・市ホームページでのロケーション紹介のほか、ジャパンフィルムコミッションを通じた情報発信 ○多言語パンフレットやSNSなどによる海外への情報発信 (2)外国人観光客の誘致促進 ○現地旅行会社やマスコミ等へのプロモーション ・海外現地で開催される旅行商談会でのセールス ○多言語表示や免税店の拡充など受入態勢整備や滞在プログラムの開発 ・外国人向け体験予約サイトでの情報提供など ○多言語パンフレットの作成 ・花巻遠野平泉観光推進協議会における周遊観光を促す8ヶ国語パンフレットの作製 ○岩手県が行う国際定期便およびチャーター便等の誘致促進事業への協力 ・台湾、香港等に向けた誘致活動への協力
---

## 2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31
花巻観光協会ホームページのアクセス件数	観光客が花巻に関心を持った回数を示す指標	花巻観光協会ホームページに導入されているアクセスカウントより算出	万件	目標値	29.1	29.8	30.5	49.9	50.0	50.2
				実績値	42.3	49.5	52.2	35.2		
訪日外国人観光客入込数 (暦年)	国内をはじめ、国外への情報発信の効果測定の観点から、花巻市への観光客入込数のうち、外国人観光客数を指標設定	国が定めた「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく調査	万人	目標値	-	-	2.9	3.7	4.4	5.2
				実績値	1.5	2.0	2.3	4.6		

## 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
C	<p>■成果指標「花巻観光協会ホームページのアクセス件数」・・・【達成度c】</p> <p>目標値に対し70.5%、前年比67.2%と、低調な結果となった。市ホームページでの観光情報の発信のほか、より充実した観光情報の発信を図るため、市からの支援により花巻観光協会ホームページをリニューアルしたが、詳細ページのURLをも変更したことと更新作業に時間を要したことから、アクセス件数が大幅に減少したと考える。</p> <p>■成果指標「訪日外国人観光客入込数」・・・【達成度a】</p> <p>目標値に対し124.3%と、前年から倍増した。このことは、市内観光事業者の力強い誘致活動と、県を筆頭に花巻空港への台湾をはじめとする国際チャーター便等の誘致活動が実を結んだことに加え、平成28年度に国において、東北観光復興対策交付金が創設され、それを活用した現地プロモーションが功を奏したと考えられる。</p>

#### 4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象 直結度	意図 直結	
1	観光情報発信事業 花巻観光協会への運営支援及び観光パンフレット等の作製委託、宿泊施設利用促進への支援、イーハトーブ大使による観光宣伝、映像作品ロケ誘致 (観光キャンペーン実施・参加 5回)	観光課	間接・ 少数	直結	C
			B		
2	外国人観光客誘致促進事業 花巻観光協会及び花巻・遠野・平泉観光推進協議会が取り組むインバウンド事業への支援、旅行商談会への参加など (国内外で開催される旅行商談会等への参加 8回)	観光課	一致	直結	A
			A		

#### 5 施策を構成する事務事業の検証

<p>(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)</p> <p>・なし</p> <p>(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)</p> <p>・観光協会ホームページをはじめ観光情報のより効果的な発信と、冬季等宿泊閑散期における宿泊客数の底上げに重きを置き、通年入込の平準化を図る必要がある。</p> <p>(新たに取り組むべき事業はないか)</p> <p>・なし</p>
--

#### 6 施策の総合的な評価

<p>(課題)</p> <p>・豊富な観光資源を有しているが、効果的な情報発信となっていない。また、地元経済への影響が大きい宿泊客数について、季節ごとに増減の差が激しい。</p> <p>・大幅な伸びが期待できない国内観光客に比して、急増する訪日外国人観光客の受け入れるためには、多言語表記など一層の受入態勢整備が必要である。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>・SNSの積極的な活用など、より効果的な情報発信となるよう努めるとともに、宿泊閑散期に合わせた宿泊客の増加につながる事業に取り組む。</p> <p>・人口減少に起因して国内観光客の大幅な伸びが期待できない中、外国人観光客については着実に増加しており、今後のにおいても地元経済への貢献が期待されることから、さらなる入込となるよう多言語表記など、引き続き受入態勢整備に努める。</p>
--